

川崎市バス事業 経営戦略プログラム

2019-2025

お客様に満足いただけるサービスの提供と
選ばれる市バスを目指して

はじめに

市バス事業については、昭和25(1950)年の営業開始から、臨海部における工業地帯の発展や企業進出、内陸部や丘陵部における宅地化に伴う人口増加など、川崎市の発展に伴い、路線エリアを市内全域に拡大し、地域の大切な交通手段として多くの市民やお客様に利用されながら、川崎市のまちづくりや福祉、環境対策等の行政施策との連携・協力を行うなど、公営バスとしての役割を担ってきました。

こうした役割を担うため、これまで市バスでは、数次にわたる経営健全化計画を策定し、経営改善やお客様サービスの向上に取り組んできました。直近では、平成26(2014)年度から平成30(2018)年度までを計画期間とする「川崎市バス事業経営プログラム」に基づき、輸送安全に係る研修の計画的実施、路線の新設・見直しや深夜バスの拡充、停留所運行情報表示器の整備・機能強化、バス停留所施設の計画的整備等により、お客様サービスの向上を図るとともに、退職動向等を踏まえた運転手・整備員の採用、上平間営業所の建替え整備、管理委託営業所の変更や営業所管轄路線の見直し等により、持続可能な経営を目指して取組を進めてきたところです。

しかしながら、今後の人口増加と高齢化率の上昇、まちづくりの進展、運転手・整備員の安定的な確保・育成、営業所施設の老朽化など、市バス事業を取り巻く環境は刻々と変化しています。こうした状況を踏まえ、市バス輸送サービスを持続的に提供し、市民やお客様の大切な交通手段を確保するため、新たな経営計画として「川崎市バス事業 経営戦略プログラム」を策定しました。

市バス事業は、平成32(2020)年に開業70周年を迎えます。川崎市の発展とともに積み重ねてきた歴史を踏まえつつ、私たち交通局職員は、強い使命感を持って今後の事業を取り巻く環境の変化に的確に対応し、これからも公共交通や公営バスとしての意義・役割を着実に果たしていくため、お客様に満足いただけるサービスの提供と選ばれる市バスを目指して取組を進めていきます。



目次 INDEX

総論

第1章 計画の策定に当たって	1
1 計画策定の背景・趣旨	2
(1)乗合バス事業について	2
(2)市バス事業について	4
(3)経営戦略の策定について	5
2 計画の位置付け	6
3 計画期間	7
第2章 市バス事業の現状と課題等	9
1 市バス事業の現状	10
(1)事業規模等	10
(2)収支状況	17
(3)経営状況	23
2 市バス事業を取り巻く環境の変化と課題	28
(1)社会環境の変化	28
(2)事業環境の変化	35
第3章 計画の基本的な考え方	43
1 経営の基本的な考え方	44
2 計画の基本方向	47
3 計画の目標	49

各論

第4章 目標達成に向けた取組	51
1 施策体系	52
2 具体的な取組(前期3年間)	54



第5章 計画の着実な推進に向けて	95
1 各戦略に係る横断的な取組	96
2 目標の達成指標	98
3 計画の進捗管理	100
第6章 計画期間中の財政収支計画	101
資料編	105
1 計画策定の経過	106
2 用語解説	110

